

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-123105

(43)Date of publication of application : 28.04.2000

(51)Int.Cl. G06F 19/00  
 G06F 13/00  
 G06F 17/60  
 G06F 17/30

(21)Application number : 11-347651

(71)Applicant : ADC TECHNOLOGY KK

(22)Date of filing : 07.12.1999

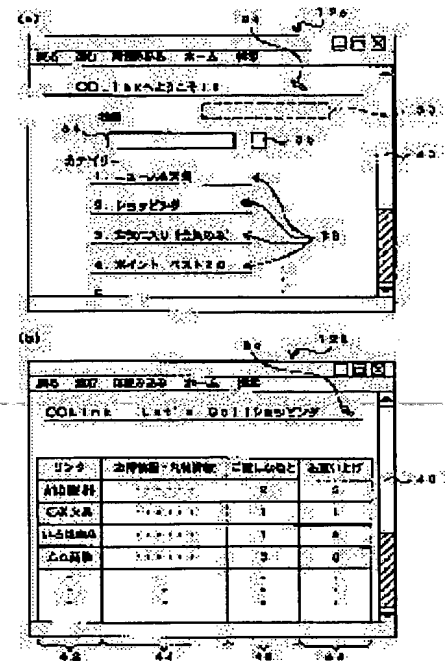
(72)Inventor : MIZUGUCHI KAZUMI

## (54) SITE GUIDANCE SYSTEM

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To facilitate the accesses to the sites in a site guidance system which is used for a network where a large number of sites are connected.

**SOLUTION:** In this system, a keyword is inputted to an editing box 34 and the sites to be classified in a displayed category 38 can be extracted by retrieving the site that is adaptive to the inputted keyword or clicking the category 38 (a) as shown in an example (b). When a column 42 which shows a site name is clicked, the relevant site is displayed. Thus, 'point 1' is given to a user and then 'point 2' is given if the user purchases a commodity at the said site. When these points are accumulated up to the prescribed value, a special favor is given to the user. Thereby, the user wants to use this site guidance system thereafter. As a result, the user can easily access the sites which are guided in this system compared with other systems.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 14.12.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 15.05.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2001-09135

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 31.05.2001

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-123105  
(P2000-123105A)

(43) 公開日 平成12年4月28日 (2000.4.28)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/24	1 0 1
13/00	3 5 5	13/00	3 5 5
17/60		15/21	Z
17/30		15/40	3 1 0 F

審査請求 有 請求項の数10 O L 公開請求 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平11-347651

(22) 出願日 平成11年12月7日 (1999.12.7)

(71) 出願人 399031827

エイディシーテクノロジー株式会社  
愛知県名古屋市中区栄四丁目16番8号

(72) 発明者 水口 和美

愛知県名古屋市中区栄四丁目16番8号 エ  
イディシーテクノロジー株式会社内

(74) 代理人 100082500

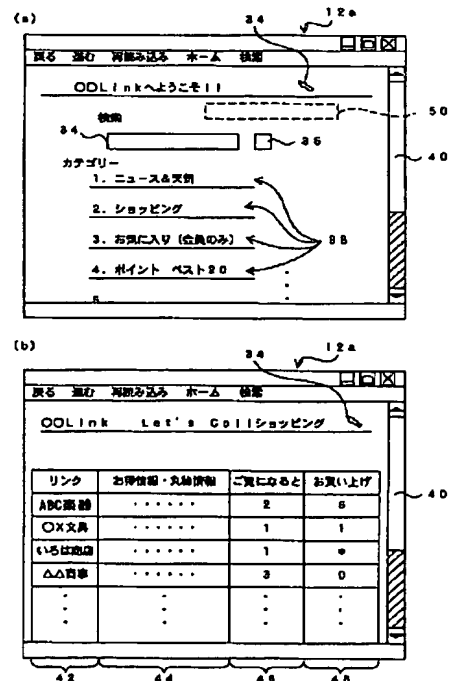
弁理士 足立 勉 (外1名)

(54) 【発明の名称】 サイト案内システム

(57) 【要約】

【課題】 膨大な数のサイトが接続されたネットワークにおいて用いられるサイト案内システムにおいて、サイトへのアクセスを受け易くする。

【解決手段】 本システムによれば、(a)において、エディットボックス34にキーワードを入力して、そのキーワードに適合するサイトを検索したり、表示されたカテゴリ38をクリックすることにより、そのカテゴリに分類されるサイトを抽出したりできる((b)はその一例)。サイトの名称が表示されている欄42をクリックするとそのサイトが表示される。すると利用者にはポイント1が付与され、更にそのサイトで商品を購入するとポイント2が付与される。このポイントを所定値まで蓄積すると利用者には特典が付与されるので利用者は今後もこのサイト案内システムを利用する。従って本システムで案内されるサイトは、他のシステムで案内されるサイトに比べてアクセスを受け易い。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークに接続された複数のサイト、および該各サイトに設定されたポイントを含むサイト情報を記憶するサイト情報記憶手段と、  
該サイト情報記憶手段に記憶された前記サイト情報の少なくとも一部を、画像表示装置に表示するサイト情報表示手段と、  
該サイト情報表示手段により表示されたサイト情報の中から利用者が利用したいサイトを指定するための指定手段と、  
該指定手段により指定を受けると、該指定を受けたサイトに対して設定された前記ポイントを前記利用者に付与するポイント付与手段と、  
該ポイント付与手段により付与されたポイントの合計が予め定められた値に達すると、該ポイントを貯えた前記利用者に特典を付与する特典付与手段とを備えたことを特徴とするサイト案内システム。

【請求項2】 請求項1に記載のサイト案内システムにおいて、  
前記サイト情報が、  
少なくとも、各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値と、  
を含んだものであり、前記サイト情報表示手段が、  
前記各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値とを対応させて前記画像表示装置に表示するものであることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項3】 請求項1または2に記載のサイト案内システムにおいて、  
前記指定手段により指定されたサイトを前記画像表示装置に表示するサイト閲覧手段を備え、前記ポイント付与手段が、  
前記サイト閲覧手段によりサイトが前記画像表示装置に表示されると前記ポイントを付与するものであることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項4】 請求項3に記載のサイト案内システムにおいて、  
前記サイト情報記憶手段に記憶された前記複数のサイトに関するサイト情報は、  
自らのサイトが前記利用者により閲覧されたことに応じて、前記ポイント付与手段により該利用者に付与される前記ポイントに対応する契約料を、少なくとも当該サイト案内システムの運用者に支払う者が提供するサイトのサイト情報であることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項5】 請求項4に記載のサイト案内システムにおいて、  
前記ポイント付与手段が、  
同一のサイトが同一の利用者に対して前記サイト閲覧手段により表示されると前記ポイントが付与されないもの

であることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項6】 請求項1から5にいずれか記載のサイト案内システムにおいて、  
前記複数のサイトの内の少なくとも一つは前記ネットワークを通じて商品を購入できるショッピングサイトであり、  
前記ポイント付与手段が、  
前記ショッピングサイトにて前記利用者が商品を購入すると、前記ポイントを付与するものであることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項7】 請求項1から6にいずれか記載のサイト案内システムにおいて、  
前記ネットワークがインターネットであることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項8】 請求項7に記載のサイト案内システムにおいて、  
前記サイト情報が、  
少なくとも、各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値と、該各サイトへのリンク情報と、  
を含んだものであり、前記サイト情報表示手段が、  
前記各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値と、該各サイトへのリンク情報とを対応させて前記画像表示装置に表示するものであることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項9】 請求項1または8に記載のサイト案内システムにおいて、  
前記利用者から、キーワードの入力を受けるためのキーワード入力手段と、  
該キーワード入力手段により入力されたキーワードに適合するサイトを前記複数のサイトの中から検索する検索手段と、  
を備え、前記サイト情報表示手段が、  
前記検索手段による検索にて抽出されたサイトのサイト情報を表示するものであることを特徴とするサイト案内システム。

【請求項10】 請求項1から9にいずれか記載のサイト案内システムにおいて、  
前記サイト情報表示手段が、  
前記利用者に付与される前記ポイントの高い順に前記サイト情報を並べて表示するものであることを特徴とするサイト案内システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワークに接続されたサイトを案内するサイト案内システムに関する。

【0002】

【従来の技術】ネットワークに様々なサーバーやサイトを接続し、相互に利用することが盛んに行なわれてい

る。特にインターネットではWWW (World Wide Web) という広域情報システムを用いて、インターネットに接続されたサイトならばURLを指定するだけで国境を越えてアクセスしたり、ハイパーテキストを用いてサイトの内外をワンタッチで移動したりすることが可能にされている。このため、企業、大学、自治体、政府機関等の組織が提供する様々なサイトがネット上で公開されている。

【0003】こうしたサイトの中には、組織により提供されたもの以外に、個人により開設されたものもある。個人がサイトを開設する目的としては、同じ趣味を持った仲間を集める、集まった仲間とコミュニケーションを図る、自己表現の場として活用をする等が挙げられる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、インターネットのように大規模なネットワークでは、接続されているサイトの数も膨大になるため、自分の開設したサイトがなかなかアクセスされないことが多い。これでは上記の目的が十分に達成できない。

【0005】また、組織のサイトもアクセスをあまり受けられないことがある。企業にとって自社のサイトは業務内容をPRしたり、商品を宣伝したりする場となり得る。このため、新聞広告や自社の商品のパッケージ等にURLを掲載し、アクセスを促しているが、有効に働いているとは言いがたい。これは、サイトの提供者が自治体や政府機関である場合も同様である（以下、PR活動を希望しているこうした組織を「企業」にて代表させる）。

【0006】程度の差こそあれ、同様の事態はインターネット以外のネットワーク（例えば、エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社が提供するiモードのネットワーク（この場合、インターネットのサイトだけでなくiモードセンターに接続されたサイトも前記サイトに含まれる）、パソコン通信（この場合、サイトには相当するのはフォーラムなど）、イントラネット）でも発生しうる。

【0007】本発明は、係る課題に鑑みなされたもので、請求項1に記載のサイト案内システム（以下、単にシステムともいう）は、サイトへのアクセスを受け易くすることを目的としている。また請求項2に記載のサイト案内システムは、アクセスする側（利用者という）がサイトを選択する際の基準を提案するものである。

【0008】更に、請求項3、6に記載のサイト案内システムは、サイトの利用の一態様をそれぞれ提案するものである。そして請求項4に記載のサイト案内システムは、サイトの提供者（以下、単に提供者とも言う）にとって安価に当該システムによるアクセスを受ける権利を得られるようにすることを目的としている。

【0009】請求項5に記載のサイト案内システムは、提供者が過剰なアクセスを受けないようにすることを目

的としている。請求項7に記載のサイト案内システムは、本システムの適切な適用対象を提案するものである。

【0010】請求項8に記載のサイト案内システムは、利用者が選択したサイトを容易に閲覧できるようにすることを目的としている。請求項9に記載のサイト案内システムは、当該システムにより案内可能なサイトの数が膨大になった場合にでも、利点を損なわないようにすることを目的としている。

【0011】請求項10に記載の本発明は、利用者がサイトの選択をし易くするとともに、当該システムを利用することによる利点を一層高めることを目的としている。

【0012】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するためになされた本発明の請求項1に記載のサイト案内システムは、ネットワークに接続された複数のサイト、および該各サイトに設定されたポイントを含むサイト情報を記憶するサイト情報記憶手段と、該サイト情報記憶手段に記憶された前記サイト情報の少なくとも一部を、画像表示装置に表示するサイト情報表示手段と、該サイト情報表示手段により表示されたサイト情報の中から利用者が利用したいサイトを指定するための指定手段と、該指定手段により指定を受けると、該指定を受けたサイトに対して設定された前記ポイントを前記利用者に付与するポイント付与手段と、該ポイント付与手段により付与されたポイントの合計が予め定められた値に達すると、該ポイントを貯えた前記利用者に特典を付与する特典付与手段とを備えたことを特徴とする。

【0013】請求項2に記載の本発明は、請求項1に記載のサイト案内システムにおいて、前記サイト情報が、少なくとも、各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値とを含んだものであり、前記サイト情報表示手段が、前記各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値とを対応させて前記画像表示装置に表示するものであることを特徴とする。

【0014】請求項3に記載の本発明は、請求項1または2に記載のサイト案内システムにおいて、前記指定手段により指定されたサイトを前記画像表示装置に表示するサイト閲覧手段を備え、前記ポイント付与手段が、前記サイト閲覧手段によりサイトが前記画像表示装置に表示されると前記ポイントを付与するものであることを特徴とする。

【0015】請求項4に記載の本発明は、請求項3に記載のサイト案内システムにおいて、前記サイト情報記憶手段に記憶された前記複数のサイトに関するサイト情報は、自らのサイトが前記利用により閲覧されたことに応じて、前記ポイント付与手段により該利用者に付与される前記ポイントに対応する契約料を、少なくとも当該

サイト案内システムの運用者に支払う者が提供するサイトのサイト情報であることを特徴とする。

【0016】請求項5に記載の本発明は、請求項4に記載のサイト案内システムにおいて、前記ポイント付与手段が、同一のサイトが同一の利用者に対して前記サイト閲覧手段により表示されると前記ポイントが付与されないものであることを特徴とする。

【0017】請求項6に記載の本発明は、請求項1から5にいずれか記載のサイト案内システムにおいて、前記複数のサイトの内の少なくとも一つは前記ネットワークを通じて商品を購入できるショッピングサイトであり、前記ポイント付与手段が、前記ショッピングサイトにて前記利用者が商品を購入すると、前記ポイントを付与するものであることを特徴とする。

【0018】請求項7に記載の本発明は、請求項1から6にいずれか記載のサイト案内システムにおいて、前記ネットワークがインターネットであることを特徴とする。請求項8に記載の本発明は、請求項7に記載のサイト案内システムにおいて、前記サイト情報が、少なくとも、各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値と、該各サイトへのリンク情報と、を含んだものであり、前記サイト情報表示手段が、前記各サイトの名称と、該各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値と、該各サイトへのリンク情報とを対応させて前記画像表示装置に表示するものであることを特徴とする。

【0019】請求項9に記載の本発明は、請求項1または8に記載のサイト案内システムにおいて、前記利用者から、キーワードの入力を受けるためのキーワード入力手段と、該キーワード入力手段により入力されたキーワードに適合するサイトを前記複数のサイトの中から検索する検索手段とを備え、前記サイト情報表示手段が、前記検索手段による検索にて抽出されたサイトのサイト情報を表示するものであることを特徴とする。

【0020】請求項10に記載の本発明は、請求項1から9にいずれか記載のサイト案内システムにおいて、前記サイト情報表示手段が、前記利用者に付与される前記ポイントの高い順に前記サイト情報を並べて表示するものであることを特徴とする。

【0021】

【発明の実施の形態および発明の効果】請求項1に記載の本発明では、サイト情報記憶手段に、予めそれぞれポイントが設定された複数のサイトに関するサイト情報を記憶しておき、サイト情報表示手段にてこれらサイト情報の少なくとも一部を画像表示装置に表示する。表示されたサイト情報の中から、利用者が指定手段を用いて利用したいサイトを指定すると、そのサイトに対して設定されたポイントがポイント付与手段によって利用者に付与される。こうして付与されたポイントの合計が、予め設定された値になると、特典付与手段が利用者に特典を

付与する。

【0022】ここでポイントとは、数値そのもののような抽象的なものでもよいし、何かを具体的に指し示す数値（例えば、金額、マイレージの距離）でもよい。また特典としては、商品購入権、現金、商品券、航空券、有料番組の無料視聴権、インターネット有料サイトの無料利用権、電話の無料利用権、割引券が例示できる。

【0023】なお、ポイントとして現金が付与される場合には、1円、3円などと与えられる現金をそのまま使えるようにしてもよいし、これらが500円、1000円等のまとまった値になって初めて特典として使用可能にしてもよい。前者の場合には、1円が「予め定められた値」となり、後者の場合は500円や1000円が「予め定められた値」となる。そしてこの現金は、利用者の口座に振り込んでもよいし、ネットワーク等において使用可能な電子マネーとして付与してもよい。

【0024】このような本システムを介してサイトを利用すればポイントを得られるので、利用者にとっては、他のシステムを利用したり或は該他のシステムによる案内を受けることなく直接サイトを見たりするよりも、本システムを利用する方が利点がある。このため、アクセスを受けたい提供者は、サイト情報記憶手段に自分のサイトの情報を記憶させておけば、サイト情報記憶手段に記憶されていないサイトに比べ、アクセスを受ける可能性が高くなる。

【0025】従って請求項1に記載の本発明によれば、サイトへのアクセスを受け易くすることができる。請求項2に記載の本発明では、サイト情報表示手段が、各サイトの名称と、その各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値とを対応させて画像表示装置に表示するものとなっている。なおこれに合わせてサイト情報は、少なくとも、各サイトの名称と、その各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値とを含んだものとなっている。

【0026】このシステムによれば、利用者は、各サイトを利用したときにもらえるポイントが画像表示装置に表示されるので、ポイントの値を覚えておく必要が無い。そして画像表示装置に表示されたポイントを見ることにより、そのサイトを利用するか否かを判断することができる。また、互いに似通ったサイトがある場合には、よりポイントの高い方のサイトを選ぶ、といったことも可能である。このようにポイントが表示されることにより、サイト間でポイントの高さの競争が発生する。すなわち、ポイントを高くするほどアクセスを受ける可能性が増大するので、アクセスを受けることを強く希望している提供者のサイトは、ポイントが高めに設定される。

【0027】従って請求項2に記載の本発明によれば、画像表示装置に表示されるポイントを、利用者がサイトを選択する際の材料にすることができる。また、ポイン

トの値が高めに設定されるので、利用者にとって利点の多いシステムとなる。因みにサイト情報に含めるサイトの名称は、正式名称でなくともよい。例えば、提供者が用いているサービスマーク、サイトの内容を暗示する画像、提供者のニックネームでもよい。サイト情報としては前記したもの以外にも、そのサイトの概要、ポイント以外の特典紹介、提供者の連絡先などを適宜含めてもよく、これに合わせてサイト情報表示手段は、これらの内の一部（または全て）を表示するようにしてもよい。また、後述する請求項8のようにしてもよい。

【0028】請求項3に記載の本発明では、指定手段により指定されたサイトを表示するサイト閲覧手段を備え、ポイント付与手段が、サイト閲覧手段によりサイトが表示されるとポイントを付与するものとなっている。企業が提供するサイトは、その内容が利用者に見られれば用が足りるものがある（例えば、広告）ので、このように閲覧を受けるだけでも意味がある。

【0029】従って請求項3に記載の本発明によれば、利用者はサイトを閲覧すればポイントを得ることができる。また提供者にとっても、自らが提供するサイトの内容を利用者に見てもらえる。請求項4に記載の本発明では、サイト情報記憶手段にサイト情報が記憶されるサイトの提供者は、自らのサイトが利用者により閲覧されたことに応じて、ポイント付与手段によりその利用者に付与されるポイントに対応する契約料を、少なくとも当該サイト案内システムの運営者（以下、単に運営者とも言う）に支払う者となっている。すなわち、この契約を運営者とかわした者のサイトが、そのサイト情報をサイト情報記憶手段に記憶される権利を得る。

【0030】ところで、サイトの利用に応じて利用者にポイントを付与したり貰えるポイントを画像表示装置に表示したりする点を除くと、請求項1～3に記載の本システムと同様のサイト案内システムは既に存在する。こうしたサイト案内システムの多くは、サイト案内を利用者および提供者に対して無料とする代わりに広告主を募り、画像表示装置にサイト情報と共に広告を表示し、その広告料収入により運営している。通常、この広告料は一月いくら等という固定料金制になっている。こうすると、提供者にとっては無料でアクセスを受けられるが、広告主にとっては利用者に広告を見られたかどうか分からないにも拘わらず広告料を徴収されることになる。にも拘わらず、サイト案内システムは利用者が多いので、広告主になるのを望む企業が多い。しかし、画像表示装置に広告を表示できる範囲は限られるので、PR効果は限定的となる。また出せる広告の数も限られるので、後発の広告主希望社は広告を出す権利が得られるまで待つ必要があるという欠点もある。

【0031】そして利用者はポイントが付与される訳ではないので、サイトがアクセスを受ける可能性が前記本発明のシステムよりも低いのは、既に説明した通りであ

る。また案内対象となるための権利が無料である（または極めて安い）ため、加入するサイトが極めて多く、これにより更にアクセスを受ける可能性が低くなってしま

【0032】この点、請求項4に記載の本発明によれば、サイトの提供者は、自らのサイトが利用されたときのみ、その利用に対して設定されたポイントに対応する契約料を少なくとも運営者に支払えばよい。これは案内料が無料であった前記従来のサイト案内システムに比べると欠点であるが、その代わりアクセスを受ける可能性が高くなるという利点がある。

【0033】そして自らのサイトを広告として活用したい企業にとっては、閲覧されたことに応じて前記契約料を広告料の代わりに払えばいいので、固定料金制で広告料を支払う場合に比べて合理的である。また、どのサイトを閲覧する（画像表示装置に表示させる）かは利用者に選ばせるので、出せる広告の数はサイト情報記憶手段の記憶容量により決まる。これは従来のサイト案内システムに出せる広告の数に比べれば無限といってもよい程の膨大な数となる。従って広告を出す権利（正確にはサイト情報記憶手段にサイト情報を記憶される権利）を提供者が待つ必要が無い。しかもサイトとして通常利用可能な範囲を全て自社の広告にできるので、表現力豊かなサイトを開設すれば効果的なPRを行なうことができる。

【0034】また、運営者にとっては広告主を募る必要が無いという利点がある（もちろん募ってもよい。広告主からの広告料収入があれば、提供者の契約料負担を軽くすることができる）。そして利用者に付与するポイントに応じて契約料収入があるので、これを当該システムの運営費や特典の代価に充てることができる。また利用者にとっても、サイトを閲覧すればポイントを得られるという利点がある。

【0035】このように請求項4に記載の本発明によれば、提供者（特に、広告主となることを希望している企業）、運営者、利用者の3者にとって利点のあるものとなる。なお、契約料の支払先を「少なくとも運営者」としたが、運営者以外の支払先としては、利用者、当該システムの設計者、当該システムの出資者等が挙げられる（以下、運営者で代表させる）。これらの内、利用者に契約料を支払う態様は、サイトから利用者にポイントを付与する態様と見なせる。

【0036】ただし、閲覧する毎に無条件でポイントが付与されると、次のような不具合が発生する。すなわち、1人の利用者が同一のサイトを何度も閲覧すると、その都度ポイントが付与されていき、その分、提供者は契約料を運営者に払い続けることになる。これでは、広告としての効果があるのは最初の1、2回であり、後は広告効果が無いのに契約料を徴収される、という事態になりかねない。

【0037】そこで請求項5に記載の本発明では、同一のサイトが同一の利用者に対して閲覧されるとポイントが付与されないようにしている。つまり、利用者がポイントを与えるのは最初の1回のみであり、あとはポイントを得られない。従って請求項5に記載の本発明によれば、過剰なアクセスによる提供者の経済的な負担を受けないようにすることができる。なお、閲覧をしてもこのようにポイントを得られない場合には、そのサイトのサイト情報を表示する際に「貴方は既にこのサイトを閲覧しましたのでアクセスしてもポイントを得られません」などの、ポイントを得られない旨を利用者に報知する警告表示をするとよい。また、このポイントを得られない状態は、所定期間（例えば、1週間、1ヶ月など）経過すると解除され、再びポイントを1回のみ貰えるようにしてもよい。なお、サイトによるPR効果の持続性に自信がある場合や、提供者が経済的に余裕がある場合には、最初の1回のみではなく、例えば、3回までポイントが貰えるようにしてもよい。この回数は、提供者の営業方針や捻出できる広告費に応じて提供者が設定できるようにするのが望ましい。

【0038】なお、前記のような悪用をされなくとも、提供者の負担が過剰になる場合も有り得る。例えば、サイトによるPR効果を狙うあまり、観賞価値が高まり過ぎて、膨大な数の利用者がサイトを閲覧する場合である。これに対応して、提供者が運営者に支払う契約料に上限（例えば、一月に200万円相当まで）を設けてもよい。この場合にも、そのサイトのサイト情報を表示する際に「このサイトはアクセス件数が非常に多いため、現在このサイトを閲覧してもポイントを得られません」などの、ポイントを得られない旨を利用者に報知する警告表示をするとよい。

【0039】請求項6に記載の本発明では、複数のサイトの内の少なくとも一つは前記ネットワークを通じて商品を購入できるショッピングサイトとしている。ここでショッピングサイトとは、ネットワーク上で商品購入の申し込みが可能にされているものである。通常、購入は、サイト上で紹介されている商品を選び、利用者のクレジットカードの番号を入力することにより行なわれる。

【0040】そしてポイント付与手段が、ショッピングサイトにて利用者が商品を購入すると、ポイントを付与するものとなっている。従って請求項6に記載の本発明によれば、ショッピングサイトで買い物にすることによりポイントを得ることができる。なお、このサイト案内システムを請求項1または2に記載の本発明に適用して、購入しない限りポイントを与えないようにしてもよいし、請求項3～5に記載の本発明に適用して、ショッピングサイトを閲覧するだけでポイントが貰え、そこで購入をすると更にポイントを与えるようにしてもよい。特に請求項5に適用する場合には、閲覧するだけでポイ

ントが貰えるのは1回のみだが、購入すると必ずポイントを与えるようにするのが望ましい。また、ポイントは購入するごとに一定の値が付与されるようにしてもよいし、購入額や購入商品毎に異なる値が付与されるようにしてもよい。

【0041】請求項7に記載の本発明では、ネットワークをインターネットとしたものである。前述のように、インターネットではWWWによりURLを指定するだけでアクセスしたり、ハイパーテキストを用いてサイトの内外をワンタッチで移動したりすることができる。従って、アクセスを一層受け易くなる。

【0042】なお、この場合、サイト情報記憶手段、ポイント付与手段、および特典付与手段を、インターネットに接続されたサーバ内に構成するとよい。そしてサイト情報表示手段および指定手段（請求項3においては更にサイト閲覧手段）をインターネットに接続された、利用者の端末装置（パーソナルコンピュータ（以下、パソコンと言う）、PDA（Personal Digital Assistant）、携帯電話など）内に構成するとよい。画像表示装置は、これらの端末装置が備えるCRTディスプレイ、液晶ディスプレイに相当することになる。こうすると、当該システムによるサイト案内を受けるには、利用者が自らの端末から前記サーバのURLを入力すればよいことになる。

【0043】請求項8に記載の本発明では、サイト情報が、請求項2で示したものに加え、各サイトへのリンク情報を含んだものとなっている。そしてサイト情報表示手段が、各サイトの名称と、その各サイトを利用したときに利用者に付与されるポイントの値と、その各サイトへのリンク情報とを対応させて画像表示装置に表示するものとなっている。

【0044】前述のようにインターネットではハイパーテキストを用いてサイトの内外をワンタッチで移動することができる。具体的には、表示された画面内にあるリンク情報の欄（通常、下線が引かれていたり、枠で囲われてボタン状にされていたりする文字列）をマウスなどでクリックすると、そのリンク情報が示すURLのホームページに表示が切り替わる。請求項8に記載の本発明では、サイト情報表示手段がにより表示されたサイトのリンク情報をクリックすると、そのサイトがサイト閲覧手段により表示される。

【0045】従って請求項8に記載の本発明によれば、利用者が選択したサイトを容易に閲覧できる。なお、前述したように、サイト情報記憶手段、ポイント付与手段、および特典付与手段を、インターネットに接続されたサーバ内に構成すると、サイトの案内もサイト閲覧手段により見ることができる。そして端末装置をパソコンにすれば、サイト閲覧手段を市販のWWWブラウザにて実現することができる。

【0046】なお、本発明の利便性（特に請求項4に記

載のサイト案内システムのように、前記契約を結ぶだけで広告を出す権利が得られるという利便性)により、サイト情報記憶手段にサイト情報が記憶されるサイトの数は増えて行くと考えられる。すると、サイト情報表示手段は、多数のサイトを案内する必要が生じ、アクセスを受け易くなる、という利点が低下してしまう可能性がある。

【0047】これに対しては、案内するサイトを分野(例えば、コンピュータ、スポーツ、ショッピング、ニュース)毎に分類して、どの分野のサイトを案内するかを利用者に選ばせ、その分野に属するサイトのみを案内するようにするとよい。また、利用者が好んで利用するサイトを幾つか予め登録しておいて、そのサイトのサイト情報のみを案内させたり、貰えるポイントが高いサイトを高い順に幾つか(例えば、10、20、…)、表示させたりしてもよい。こうすると、案内対象となるサイトの数が減少するので、アクセスの受け易さが低下するのを防ぐことができる。利用者にとっても、所望分野のサイトや興味のあるサイトのみが表示されるので選択をし易くなる。また請求項9のようにしてもよい。

【0048】請求項9に記載の本発明では、キーワード入力手段を介して利用者から入力されたキーワードに適合するサイトを、検索手段が、サイト情報記憶手段にサイト情報が記憶されているサイトの中から検索する。そしてサイト情報表示手段が、検索手段による検索にて抽出されたサイトのサイト情報を表示する。

【0049】従って請求項9に記載の本発明によれば、サイト情報が表示されるサイトの数を適切に絞こむことができるので、サイトの数が膨大になっても、アクセスを受け易さの低下を防ぐことができる。請求項10に記載の本発明では、サイト情報表示手段が、利用者に付与されるポイントの高い順にサイト情報を並べて表示するものとなっている。こうすると、利用者は案内されているサイトの中で貰えるポイントが最も高いサイトを容易に知ることができる。また、こうすることにより、ポイントの高いサイトとそうでないサイトとが明確になるので、前記したサイト間の競争が激化する。

【0050】従って請求項10に記載の本発明によれば、利用者がサイトの選択をし易いものとなる。また、提供者がポイントを高め設定する可能性が高いので、利用者にとって利点の多いシステムとなる。たとえこの

システムを、請求項9のシステムのような、案内するサイトを絞こむシステム以外のサイト案内システムに適用しても、利用者はポイントの高いサイトしか選択しないと考えられるので、ポイントの値を高くしておきさえすれば、アクセスの受け易さを保つことができる。

#### 【0051】

【実施例】以下に本発明の実施例を図面と共に説明する。まず、図1は本発明のサイト案内システムを適用した一実施例の概略説明図である。本実施例では、インターネットNと、インターネットNに接続されたポイント付き検索サーバー4、ショッピングサイト6、およびインターネット端末8と、ポイント付き検索サーバー4に接続されたユーザーデータベース10を主要部として構成されている。

【0052】図2にインターネット端末8の一例を示す。インターネット端末8は、画像表示装置としてのCRTディスプレイ12と、CPU、CD-ROMドライブ、ハードディスクなどを搭載した本体部14と、キーボード16と、マウス18とを備えたパソコンとして構成されている。なお、本体部14のハードディスクには、アプリケーションソフトとして少なくともWWWブラウザがインストールされている。このWWWブラウザが本発明のサイト閲覧手段に相当する。

【0053】図3にポイント付き検索サーバー4の概略構成を示す。ポイント付き検索サーバー4は、様々なコンピュータプログラムを実行するCPU22と、ワークメモリ等として機能するRAM24と、制御プログラムおよび比較判定用のデータを格納したROM26と、インターネットNとのデータのやり取りを制御する通信制御部28と、ショッピングサイト6をはじめとする、当該ポイント付き検索サーバー4と契約を結んだサイトに関する情報などを大量に記憶する外部記憶装置30と、これら各部を結ぶバス32とを主要部として構成されている。また、ユーザーデータベース10には、ユーザー(利用者のこと)に関する情報が記憶されており、その内容はCPU22から参照可能にされている。

【0054】ユーザーデータベース10の記憶内容の一例を[表1]に示す。

#### 【0055】

【表1】

利用者名	ID番号	パスワード	ポイント
山田太郎	A00001	qwErty2	1002
鈴木花子	A00002	aSdfgh3	71
渡辺三郎	A00003	zxCvbn1	554
加藤健作	A00004	Uiopjk0	3240
⋮	⋮	⋮	⋮

【0056】[表1]に示すように、ユーザーデータベース10には、利用者名と、そのID番号と、パスワードと、その利用者が今までに付与されたポイントとが格納されている。このサイト案内システムでは、サイトを

と、その利用者が今までに付与されたポイントとが格納されている。このサイト案内システムでは、サイトを



閲覧したり、ショッピングサイト6で商品を購入したりすると、その利用者にポイントが付与される。このポイントを蓄積すると、ショッピングサイト6で代金として使用できる購入権が付与される。購入権はポイントを1000点貯めると500円分、1800点貯めると1000円分、3000点貯めると2000円分となっている。なおユーザーデータベース10内には〔表1〕に示

されている情報以外にも、その利用者がよく閲覧するサイト名等も利用者毎に格納されている。

【0057】外部記憶装置30の記憶内容の一部を〔表2〕に示す。

【0058】

〔表2〕

サイト名	リンク情報	ポイント1	ポイント2
A B C楽器	http://www....	2	5
○×文具	http://www....	1	1
いろは商店	http://www....	1	*
△△商事	http://www....	3	0
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

【0059】〔表2〕に示すように、外部記憶装置30には、サイト名と、そのサイトへのリンク情報と、ポイント1と、ポイント2とが格納されている。ポイント1はそのサイトを閲覧した利用者に付与されるポイントであり、ポイント2はそのサイトで商品購入の注文をした利用者に付与されるポイントである。ただし、外部記憶装置30にはショッピングサイト6だけではなく、ニュースのサイトや企業広告に関するサイトなども略同様に記憶されている。こうした商品購入の注文をできないサイトはポイント2がゼロになっている。また、表中「いろは商店」のポイント2が「\*」となっているのは、購入した商品に応じてポイント2の値が異なることを示している。

【0060】これらポイント1、ポイント2の値は、提供者の端末から変更できるようにされている。この変更は、マーケットの推移、利用者のアクセス状況、あるいは提供者のマーケティング戦略に応じて行なわれる。なお外部記憶装置30には〔表2〕に示されている情報以外にも、各サイトのセールスポイント、各サーバを検索する際に用いられるキーワード等もサイト毎に格納されている。外部記憶装置30が本発明のサイト情報記憶手段に相当し、〔表2〕にその一部が示されているのがサイト情報に相当する。なお、これに倣うと〔表1〕に示したような情報を格納しているユーザーデータベース10を、利用者情報記憶手段と言うこともできる。

【0061】次に図4および図5を用いて、本システムにおいてインターネット端末8（利用者）、ポイント付き検索サーバ4、およびショッピングサイト6の間で行なわれる指令およびデータのやり取りの主な流れについて説明する。なお、図4に示されている(1)、(2)、(3)、…の番号は図1に示されている(1)、(2)、(3)、…の番号と対応している。まず利用者は、インターネット端末8のWWWブラウザを起動し、インターネットNを介して、ポイント付き検索サーバ4にアクセスする。すると、CRTディスプレイ12の画面12aに、ID番号とパスワードを入力する画像が出力される（図

示しない）。利用者は自らのID番号とパスワードを入力する。入会していない場合は、同じ画面から操作可能にされている入会手続を行なう。この手続において利用者名を入力すると、ID番号とパスワードが発行され、ユーザーデータベース10に登録される。

【0062】ID番号とパスワードを入力するとポイント付き検索サーバ4のCPU22（以下、単にポイント付き検索サーバ4ともいう）は、ユーザーデータベース10の記憶内容に基づきID番号とパスワードの対応が正しいか否かを判断し、正しければ、図5（a）のような画像をインターネット端末8に送信する。

【0063】この画像が画面12aに表示されると、エディットボックス34にキーワードを入力し、マウス18を適宜操作してポイント34をボタン36に位置させてクリックすることにより、そのキーワードに適合するサイトを外部記憶装置30に記憶されたショッピングサイト6の中から検索する（これが本発明の検索手段に相当する）ことや、表示されたカテゴリ38にポイント34を位置させてクリックすることにより、そのカテゴリに分類されるサイトを外部記憶装置30に記憶されたサイト（ショッピングサイト6に限らない）の中から抽出することが可能となる。本図ではカテゴリ38が4個しか表示されていないが、スクロールバーのつまみ40を下に移動させることにより5個目以降のカテゴリも表示される。なお、3番目のカテゴリ38である「お気に入り」は、当該システムの会員（ユーザーデータベース10に登録されている利用者）が予めユーザーデータベース10に登録しておいた、自分がよく閲覧するサイトを案内するものである。また4番目のカテゴリ38である「ポイント ベスト20」は、外部記憶装置30に記憶されたサイトの中で、貰えるポイント1の数が高いサイト20個を抽出するものである。

【0064】この中から例えば、2番目のカテゴリ38である「ショッピング」が指定されると「ショッピング」が指定された旨がポイント付き検索サーバ4に送信される(1)。ポイント付き検索サーバ4は、検索結

果(ここでは外部記憶装置30にサイト情報が記憶されている全てのショッピングサイト6)をインターネット端末8に送信する(2)。すると画面12aには図5(b)のような画像が表示される。

【0065】この画像において、欄42はサイトの名称を表示する箇所、この箇所にポインタ34を位置させてクリックするとそのサイトが表示される。つまり欄42にはリンク情報が含まれている(このクリックを行なう際のマウス18が本発明の指定手段に相当する)。欄44に表示されているのは、[表2]で示さなかった各サイトのセールスポイントである。また欄46にはポイント1が、欄48にはポイント2が表示されている。この画像を表示する処理が本発明のサイト情報表示手段に相当する。

【0066】欄42のいずれかの箇所でクリックすると、そのリンク情報がポイント付き検索サーバー4に送信される(3)。リンク情報を受け取ったポイント付き検索サーバー4は、そのリンク情報に基づいて指定されたショッピングサイト6に接続する(4)。するとそのサイトのコンテンツ(内容)がインターネット端末8に送信され(5)、画面12aに表示される。そして、ショッピングサイト6からポイント付き検索サーバー4に、利用者が当該ショッピングサイト6を閲覧した旨を報知する情報(接続情報)を送信する(6)。更にショッピングサイト6は、ポイント付き検索サーバー4に対して契約料を支払う(7)。契約料はポイント、1点毎に幾ら、というように契約されているものとする。

【0067】接続情報を受け取ったポイント付き検索サーバー4は、外部記憶装置30を参照し、そのショッピングサイト6に対応して設定されているポイント1を、そのショッピングサイト6を閲覧した利用者に付与する(8)。この付与はユーザーデータベース10内のその利用者のポイントを加算することにより行なわれる。この処理が本発明のポイント付与手段に相当する。また、このポイントが1000点、1800点、3000点のいずれかに達すると、ポイント付き検索サーバー4は、その旨を利用者に報知する。この報知は図5(a)に示した画像において行なわれる。

【0068】例えば、同図のエリア50に「ポイントが1000点に到達しました」とメッセージが表示される。なお、ここまでは、ショッピングサイト6以外のサイトを閲覧した場合も同様の処理が行なわれる。こうしてポイントが前記した値に到達すると、それに応じて発生する前記購入権を、利用者からの指示に応じてショッピングサイト6において購入に用いることができる。この購入権を行使した場合、その分のポイントは蓄積されたポイントから減算される。この購入権の付与およびその行使に伴う減算などの管理はポイント付き検索サーバー4が行なっており、これが本発明の特典付与手段に相当する。

【0069】ショッピングサイト6を閲覧し、更に購入を行なった場合には図4(b)のようなデータのやり取りを行なう。(9)～(14)まではそれぞれ(1)～(6)と略同様に行なわれる。但し(14)では、サイトが閲覧されたことに対する契約料も支払われる。(13)で表示されたコンテンツ(具体的には、そのショッピングサイト6で販売されている商品・サービスの紹介など)の中から、利用者が所望の商品(またはサービス)を選択し、クレジットカードの番号を入力することにより発注を行なう(15)。この発注を受けたショッピングサイト6は、受注した旨をインターネット端末8に送信する(16)。なお、この中には、商品の配送方法の選択や代金の決済方法の選択(例えば、何回の分割払いにするか)を行なうための画像が含まれている場合もある。

【0070】商取引の手続が完了すると、受注情報がポイント付き検索サーバー4に通知される(17)。そしてショッピングサイト6からポイント付き検索サーバー4へ、購入に対して利用者に付与されるポイント2に対応する契約料を支払う(18)。(17)の受注情報を受け取ったポイント付き検索サーバー4は、外部記憶装置30を参照し、そのショッピングサイト6に対応して設定されているポイント2を、そのショッピングサイト6を閲覧した利用者に付与する(19)。この付与はポイント1の場合と同様、ユーザーデータベース10内のその利用者のポイントを加算することにより行なわれる。例えば、利用者がABC楽器を閲覧し更に購入を行なうと、ポイント1である「2」とポイント2である「5」の合計値である7点がこの利用者に付与される。このポイントが予め設定された値に達すると、その旨が利用者に報知されるのも同様である。ショッピングサイト6は、受注した商品を利用者へ納品する(サービスの場合はそのサービスを実施する)(20)。利用者はその商品(またはサービス)に応じた代金を納入する(21)。

【0071】以上のようなサイト案内システムによれば、図5(b)等の画面により案内されたサイトを閲覧したり、更に商品購入をしたりすることにより、利用者はポイントを得ることができるので、他のシステム(例えば、検索エンジンと呼ばれるサイト)を利用するよりも、本システムを利用する方が利点がある。従って、アクセスを受けたいサイトの提供者は、ポイント付き検索サーバー4と契約を結び、外部記憶装置30に自分のサイトの情報を記憶させておけば、この契約をしていないサイトに比べ、アクセスを受ける可能性が高くなる。

【0072】また、図5(b)の画像において各サイトを閲覧した際に貰えるポイント1やポイント2(そのサイトがショッピングサイト6の場合)が表示されているので、利用者はサイトを選択する際の判断材料にすることができる。そして、ポイントの値が高いほどアクセスの可能性が高いと考えられるため、サイト間でポイントの競争が発生し、ポイントの値は高めに設定される。従

って、利用者にとって利点の多いシステムとなっている。

【0073】サイトの提供者にとっても、次のような利点がある。すなわち、外部記憶装置30に記憶されたり図5(b)の画像に自らのサイトが表示されたりしただけでは契約料を支払う必要はなく、購入が行なわれたり(ショッピングサイト6の場合)利用者により閲覧されたりした場合のみポイント付き検索サーバー4に支払えばよい。つまり、自らのサイトによるPR効果や営業利益が得られた場合のみ、契約料を支払えばよいので、固定料金制で広告料を徴収される場合に比べて合理的である。

【0074】また、従来のサイトに付随して表示される広告は、表示箇所、表示数が極めて限定されていた。このため、広告主になるためには、表示箇所が空くのを待ったり現行の広告主よりも多額の広告料を払ったりする必要があった。また広告主になれたとしても表示面積が極めて限られることが多いため、PR効果も限定的であった。この点、本システムでは、ポイント付き検索サーバー4と契約を結ぶるか否かは主に外部記憶装置30の記憶容量により決まるので、表示箇所が空くのを待ったり多額の広告料を払ったりする必要がない。しかも前記したように、外部記憶装置30にサイト情報が記憶されたサイトは閲覧される可能性が高いという利点がある。これに加え、サイト全体を広告の表示面積として使えるため、表現力豊かなサイトを開設すれば効果的なPRを行なうことができる。

【0075】またポイント付き検索サーバー4を運営する側にとっても、広告料収入の代わりに契約料収入を得られるので、広告主を募る必要が無い、という利点がある。以上、本発明を適用した実施例について説明してきたが、本発明はこの実施例に何等限定されるものではなく様々な態様で実施しうる。

【0076】例えば、前記実施例では、利用者に付与される特典は購入権であったが、それ以外のものに変えたり、複数の特典の中から選択可能にしたりしてもよい。また、特典を受けるのに必要なポイントの合計値も、前記値(1000点、1800点、3000点)と異なるものに変えてもよい。

【0077】図5(b)の画像において、外部記憶装置30に記憶されている順序と同じ順序でサイトを表示したが、これ以外の順序で表示してもよい。具体的には、サイト名の50音順で表示したり、貰えるポイント1の高い順で表示したりすることが考えられる。後者のようにすれば、サイト間のポイントの競争が激化するので、更にポイントが高めに設定され、利用者にとって有利となる。ショッピングサイト6を案内する場合には、ポイント2の高い順で表示しても同様の効果が得られる(この場合、ポイント2が「\*」となっているサイトは、筆頭に表示してもよいし、そのサイトでもらえる最も高い

ポイント2をそのサイトのポイント2と見なした順序で表示してもよい)。

【0078】また、ポイント1を貰えるのは、1人の利用者がそのサイトを初めて閲覧するときのみとしてもよい。これを実現するには、ユーザーデータベース10に、各利用者が閲覧したサイトのサイト名(またはURLなど)を記憶しておき、そのサイトが再び閲覧された場合には、ポイント1を付与しないようにするとよい。こうすると、サイトが表示(閲覧)されても全く見ないにも拘わらず次々とサイトを表示させて、ポイントを不当に獲得したり、提供者に経済的なダメージを与えたりする利用者が現われるのを防ぐことができる。若しくは(又はこれに加えて)、各サイトを一定時間(例えば、15秒)表示させていないとポイント1を貰えなかったり、複数の画像(ページと呼ばれる)から成るサイトは、あるページ数以上見ないとポイント1を貰えなかったりするようにしてもよい。この時間やページ数は、各サイト毎に外部記憶装置30に記憶させておくとよい。

【0079】非常に人気のあるサイトの場合、前記のような対策をしても、ポイント付き検索サーバー4に支払う契約料が膨大な金額になる可能性がある。これに対応し、契約料がある金額を超えたら、そのサイトを閲覧してもポイントを得られないようにしてもよい。この場合は、ポイント1を得られない旨を利用者に報知する警告表示を図5(b)の画像などに出力するのが望ましい。また、一時的にそのサイトを案内対象から外すことにより本システムを介してそのサイトを閲覧することをできなくしてもよい。利用者が本システムを介さずにサイトを閲覧した場合には、そのサイトの提供者は契約料をポイント付き検索サーバー4に支払う必要がないので、提供者の負担が過剰になるのを防止することができる。

【0080】本システムの運営を開始した当初などは、外部記憶装置30にサイト情報が記憶されているサイトの数が少ない可能性がある。こうした場合には、キーワードによる検索やカテゴリーによる選択案内を取りやめ、外部記憶装置30にサイト情報が記憶されている全てのサイトを案内してもよい。

【0081】また、図4に関する説明において、(7)(18)では「契約料を支払う」としたが、この代わりに、手形に相当する信用情報のみを送信し、後日契約料を払うようにしてももちろん良い。これらの支払いや、利用者の代金支払を電子マネーで行なってもよい。更に、利用者に付与されるポイントを電子マネーに変えてもよい。

【0082】また、前記システムでは、サイトが閲覧されたり購入されたりしたときのみ、サイト側はポイント付き検索サーバー4に契約料を支払う、としたが、外部記憶装置30にサイト情報を記憶させる際や、図5(b)のように案内した場合にも料金をポイント付き検索サーバー4に支払うようにしてもよい。こうすると、

全く閲覧を受けないサイトからも料金を徴収することになるので、外部記憶装置30にサイト情報を記憶しておくための費用などとして、この料金をポイント付き検索サーバー4の運営者が活用することができる。但し、閲覧や購入に応じて契約料を支払うことの合理性を減退させないために、前記料金は安価であることが望ましい。

【0083】前記システムはインターネットを用いて各サイトの利用を行なうものであったが、これ以外のネットワーク（例えば、エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社が提供するiモードのネットワーク（この場合、インターネットのサイトだけでなくiモードセンターに接続されたサイトも前記サイトに含まれる）、パソコン通信（この場合、サイトには相当するのはフォーラムなど）、イントラネット）に適用してもよい。

【0084】前記実施例では、利用者に関する情報を、ユーザーデータベース10に【表1】に示したような態様が格納したが、利用者とポイント、またはID番号とポイントのみにしてもよい。こうするとパスワードが格納されていないことにより安全性が低下したり、よく閲覧するサイトが格納されていないことにより「お気に入り」のカテゴリを選べなくなったりするが、それ以外は前記と同様の効果を奏するものとなる。

【0085】また、ポイントを付与する方法を変えれば、利用者情報記憶手段を、ポイントが格納されていない態様にすることもできる。この場合には、次のような態様が例示できる。まず各利用者の住所をユーザーデータベース10に格納しておく。そしてサイトから接続情報を受け取ったポイント付き検索サーバー4は、付与すべきポイント分のチケットを利用者の住所に郵送する。このチケットを受け取った利用者は、所定の用紙にチケ

ットを貼り付ける。貼り付けたチケットの合計点が1000点、1800点、3000点のいずれかに達した利用者は、その用紙をポイント付き検索サーバー4に郵送する。ポイント付き検索サーバー4は、その用紙に貼り付けられたチケットの合計値に応じ、利用者に購入権を付与する。このようにしても前記と同様の効果を奏するシステムとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のサイト案内システムを適用した一実施例の概略説明図である。

【図2】 利用者が利用するインターネット端末8の外観図である。

【図3】 ポイント付き検索サーバー4の内部の概略構成を示すブロック図である。

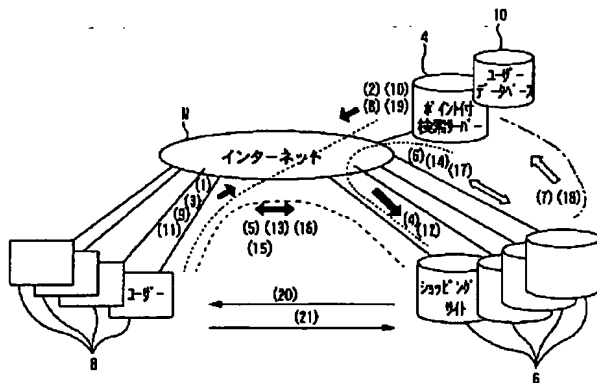
【図4】 利用者、ポイント付き検索サイト、およびショッピングサイトの間で行なわれるデータのやり取りを示す説明図である。

【図5】 インターネット端末8の画面12aに表示されたサイト案内画面の一例である。

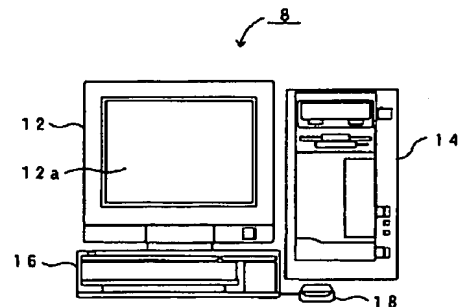
【符号の説明】

N…インターネット	4…ポイント付き検索サーバー
6…ショッピングサイト	8…インターネット端末
10…ユーザーデータベース	12…CRTディスプレイ
12a…画面	14…本体部
16…キーボード	18…マウス
28…通信制御部	30…外部記憶装置
32…バス	38…カテゴリー

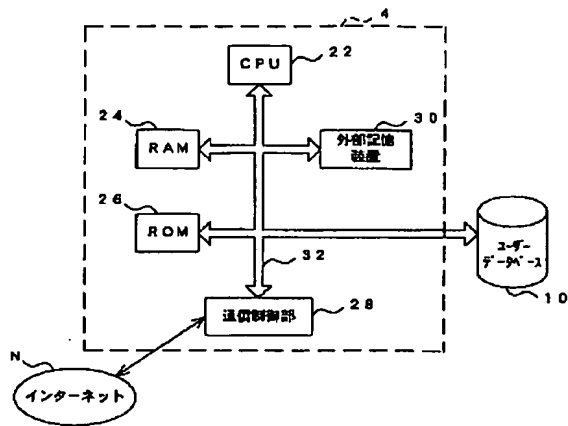
【図1】



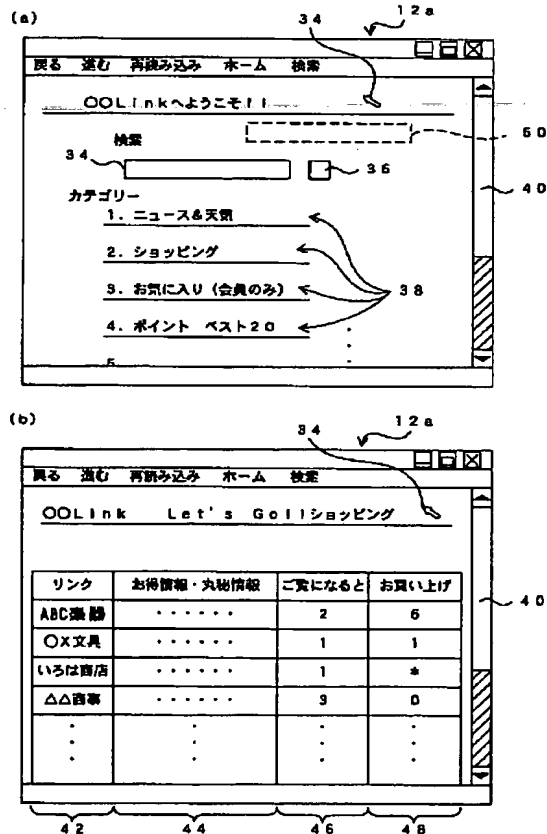
【図2】



【図3】



【図5】



【図4】

